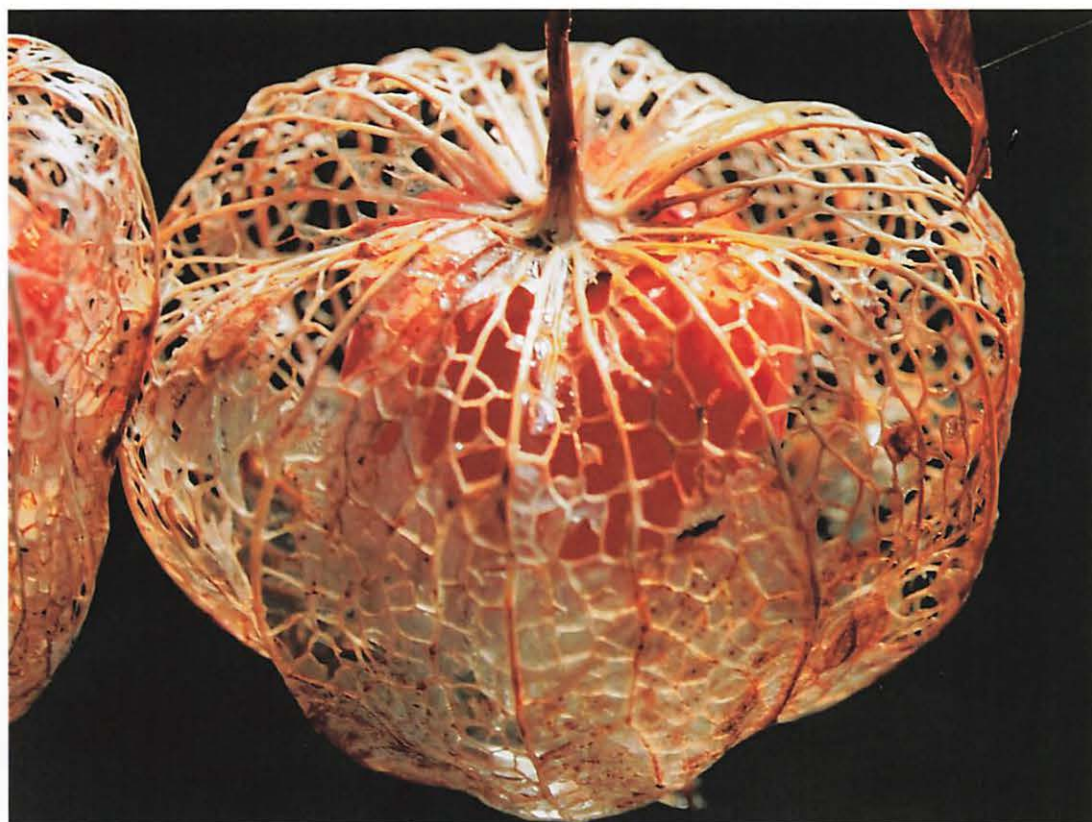


光市医師会報

No.463

(令和6年 秋号)



写真提供：寒川哲男

光市医師会

<https://bit.ly/3P3IZm1>

目 次

光市医師会報 No. 463 (令和6年 秋号)

1. 表紙	
2. 学術講演会	1
令和6年度第3回学術講演会	1
令和6年度第4回学術講演会	1
3. 理事会報告	2
4. 入会会員	18
5. 会員の異動	19
6. 緑友会コンペ	19
7. これからの行事予定	20
8. 月例会報告	20
9. 休日診療所	20
10. 納涼懇親会	21
11. 編集後記	22

令和6年度 第3回
光市医師会学術講演会

2024年8月27日(火)

18:00～20:00

光商工会館2階 大会議室

製品紹介 18:50～19:00

選択的SGLT2阻害剤-2型糖尿病・慢性腎
臓病治療剤「ジャディアンス錠」

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

特別講演 19:00～20:00

「心-腎-代謝関連の観点から考える
SGLT2iの早期導入の意義 ～ジャディ
アンス錠の新しいエビデンスを考察する
～」

座長 いのうえ内科クリニック

院長 井上 祐介 先生

演者 山口大学大学院医学系研究科

器官病態内科学講座

教授 佐野 元昭 先生

令和6年度 第4回
光市医師会学術講演会

2024年9月24日(火)

18:00～20:00

光商工会館2階 大会議室

特別講演 19:00～20:00

「ガイドラインに基づいた心房細動診療
～2024年フォーカスアップデート版のお
さらい～」

座長 光市立光総合病院 循環器内科

副院長 中村 安真 先生

演者 徳山中央病院 循環器内科

部長 平塚 淳史 先生

理事会報告

令和6年度7月光市医師会理事会

日時 令和6年度7月9日(火) 午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、秋吉宏規理事、北川博之理事、河内山敬二理事、
谷川幸治理事、田村健司理事、前田一彦理事、松島寛理事
藤田敏明監事、守友康則監事

欠席なし

議題

I 報告事項

1. 第106回 山口県医学会総会

令和6年6月9日 於 周南市文化会館 出席者 井上祐介

開会の辞

徳山医師会 会長 津永長門

山口県医師会長挨拶 加藤智栄

講演1 座長 徳山医師会 副会長 小野 薫

「感染症とCOPD」

山口大学医学部附属病院病院長、呼吸器・感染症内科教授 松永和人

講演2 座長 徳山医師会 理事 原田 有彦

「医療安全」を問い直す ～心理的安全性と医療の質～」

大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理室 病院教授・部長

山口(中上)悦子

山口県医師会医学助成事業の研究発表

1. 「時計遺伝子が多発性骨髄腫の病態に及ぼす影響の解明」

山口大学医学部附属病院第三内科 助教 徳永良洋

2. 「環境DNA分析を用いた溺死診断法の開発」

山口大学大学院医学系研究科法医学講座 教授 高瀬 泉

市民公開講座

幸田浩子 ソプラノリサイタル

謝辞 医学会総会準備委員長・徳山医師会副会長 高木 昭

2. 第196回山口県医師会定例代議員会

令和6年6月13日(木) 15:00～ 出席 井上祐介 広田 修

(1) 令和5年度事業報告 抜粋 詳細は、山口県医師会報を参照

①生涯教育

- ・第105回山口県医学会総会（令和5年6月11日） 吉南医師会引き受け
- ・生涯教育セミナー 4回開催
- ・山口大学医師会主催で体験学習
 - 「日常診療のためのエコーによる血管疾患の診断」
 - 「基本的な甲状腺診療と甲状腺エコー手技について」
- ・山口県医学会誌 第58号発行

②医療・介護保険

- ・令和5年5月に中四国医師会連合の医療保険分科会が開催され、次期（令和6年度）診療報酬改定に際し、10項目の要望を日本医師会の社会保険診療報酬検討委員会へ提出した
- ・個別指導、新規個別指導に県医師会から立会をした
- ・オレンジドクター制度について会員へ周知を行なった
- ・自賠責保険研修会で「交通事故診療における留意点（損保顧問医の立場から）」と題して特別講演を開催した

③地域医療

- ・令和6年度の改正感染症法に基づく医療措置協定の締結に向けて会員への説明に努めた
- ・時間外二次救急に対応する医師へのインセンティブを実現
- ・乳幼児の保護者を対象とした啓発講習会及び小児科を専門としない医師を対象とした地域医師研修会を開催
- ・JMATチームを結成（26チーム、183名）
 - 能登半島地震へ4チームを派遣
- ・地域包括ケアシステムへの取り組みに助成

④地域保健

- ・女性クリニック We! TOYAMA 代表の種部 恭子先生に、「守れる命と未来のために ～HPVワクチン接種率向上のために～」として講演頂いた
- ・県及び市町に対して、ムンプスワクチン、小児のFluワクチン、就学前 DPT ワクチン及びポリオワクチン、B型肝炎定期接種の対象外年齢の小児に対する助成を要望
- ・「山口県における不登校対策」として学校医研修会を開催
- ・山口県糖尿病療養指導士講習会を開催し、新規合格者108名、全体で資格保有者は936名となった
- ・喫煙防止教育の資料を県内の小中学校へ配布
 - 禁煙防止教育のパワポを作成

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/medical/kinen/>

⑤広報・情報

- ・県民に対して記者会見を提供
- ・山口県医師会報 発行
- ・花粉情報を県へ提供

⑥医事法制

- ・令和5年度医療紛争発生受付件数 25件（日医付託は4件）
- ・令和5年「診療情報提供推進窓口」受付件数 65件 相談 37件、苦情 28件

⑦勤務医・女性医師対策

- ・勤務医ニュース第31号、32号を発刊した
- ・「定年退職後の勤務医の働き方」をテーマに座談会を開催
（内容は勤務医ニュース32号に掲載）
- ・「医療者のためのLGBTQの基礎知識」として、鈴木弁護士事務所の鈴木朋絵弁護士に講演頂いた

⑧医業について

- ・山口県の「医業継承支援事業」の運営委託を受け、相談窓口と各種業務を開始
- ・山口県医業継承推進連絡会議で今後も事業継承を継続
- ・看護職員等の確保、養成施設の支援拡充について県その他へ要望

（2）議決事項

① 令和5年度 決算

②③山口県医師会役員選任の件

会長 加藤 智栄 先生（山陽小野田医師会）

光市関係 常任理事 竹中 博昭 先生

裁定委員 平岡 博 先生

④ 令和7年度 会員年会費

⑤ 令和7年度 県医師会入会金

⑥ 令和7年度 県医師会役員報酬

⑦ 顧問の委嘱の件

光市関係 河村 康明 先生

原案通り承認

詳細は山口県医師会報 8月号を参照

3. 令和6年度周南地区医師会女性医師部会総会 令和6年6月21日 出席者 井上祐介 総会

第1号議案（報告事項）

報告第1号 令和5年度活動報告 報告第2号 令和5年度活動状況

第2号議案（協議事項）

議決第1号 役員の選出について

部会長 村田雅子（光） 副部会長 倉光せつ（光） 小野祐紀子（徳山）
委員 板垣明味（徳山） 尾都野信子（徳山） 澁谷文恵（徳山） 永末裕子（徳山）
平岡いづみ（光） 水津礼子（下松） 河村裕子（下松）
顧問 登坂正子（徳山）
山口県医師会男女共同参画部会理事 板垣明味（徳山）
講演 「更年期障害と実際の治療」 講師 梅田病院 産婦人科 手嶋咲子

以上を報告した

Ⅱ. 協議・承認事項

1. 休日診療所における発熱又は感染症疑い患者への対応について （前田理事）

下記は光市役所からのメール文書転載

新型コロナ対応は、令和5年5月8日に2類相当から5類に変更された後から、行政による入院調整などの段階的な経過措置を講じながら、令和6年4月以降は通常医療へ完全に移行されました。

また、今後マイナンバーカードによる資格確認へ移行していくことも踏まえ、光市健康増進課から以下のご提案をいただきました。

今後の休日診療所運営について、ご意見よろしくお願いいたします。

①マイナンバーカードを用いた資格確認方法について

（ア）発熱や風邪症状のある受診希望者が、保険証の持参なくマイナンバーカード持参の場合は、顔認証又は暗証番号入力が必要になります。今後、マイナンバーカードが保険証のかわりとなることもあり確認をさせていただこうと思います。

<対応>

- ・診療所内に入ってオンライン資格確認を行う対応でよいでしょうか。
- ・資格確認時以外は、診療所外・自家用車内で待機いただく。
- ・スタッフが機器の消毒等を行う必要性はあります。

②発熱や風邪症状のある受診希望者への対応について

十分な感染対策のため、これまでどおりの対応を原則としたいと思うのですが、いかがでしょうか？

<対応>

- ・事前に電話連絡をいただく
- ・電話で問診
- ・基本的に診療所内には入っていただきず、診療所外（自家用車の場合は車内）にて待機、診察・検査を実施。
- ・検査結果が陽性の場合は会計までを所外で行う

令和5年12月24日から検査陰性の場合は、中で精算可となっています。

なお、当日の患者数次第では、診療所内の一角（透明カーテンで仕切られた場所）に1人ずつ入っていただき、診療・検査を行う対応も可能としてよいでしょうか？

上記以外にもご意見がありましたら、よろしくお願いいたします。

理事会では、市健康増進課の提案通りの運営を続けることで了承された。問診は簡略化の方針で可、患者が少ない時の入館については当番医に委ねることとした。

2. 勤務部部会市民講座について (井上会長)
過去に照らし合わせて「地震と防災について」のテーマで複数の講師依頼とする方向、3月に光市民小ホールで開催の予定。
3. 7月月例会について (谷川理事)
7月開催は中止で承認
4. 職員賞与について (廣田副会長)
例年と同じで承認
5. 入会会員について (井上会長)
光中央病院 谷井 貢 先生
ナイスケアまほろば 横山 俊之 先生

以上を協議・承認した

令和6年度8月光市医師会定例理事会

日時 令和6年8月6日（火）午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、前田一彦理事、田村健司理事、秋吉宏規理事
松島寛理事、河内山敬二理事

欠席 北川博之理事、谷川幸治理事、藤田敏明監事、守友康則監事

議題

I 報告事項

1. 令和6年度 都市医師会救急医療担当理事協議会（7/11） (前田理事)
協議事項

- 1) 本件の救急搬送の現況について（報告）
 - ・令和5年度の出動件数は、速報値で過去最多
 - ・割合は、中等症が1位、軽症が2位
 - ・高齢者の割合は、68.8%（全国平均は60%）
 - ・令和4年度の不搬送件数は10,000件以上で、そのうち搬送辞退が6,000件以上
 - ・現場到着、病院収容時間は、それぞれ0.4分、3分延伸
主な要因は、出動件数の増加に伴い、出動中に新たな事案が発生することが増えたため（その場合、管轄区域外から救急車が応援出動する）
 - ・救急救命士の運用率は、98.7%が常時同乗している
 - ・救急救命士が行った応急処置は、静脈路確保976件、特定の器具による気道確保729件
薬剤投与698件 など
- 2) ドクターヘリの出動状況について
 - ・山口県ドクターヘリ出動件数は266件で例年通り
 - ・広域連携による広島県からのヘリ出動が、岩国、光、下松で多い
- 3) 救急勤務医支援事業について（資料3）
 - ・若手を中心とした医師のさらなる確保のため、休日夜間の救急医療に従事する医師の処遇改善を支援する事業
 - ・医師が入院が必要と判断した患者一人につき、医療機関が3,000円の手当を支給
 - ・県がその1/3を助成する（1,000円が上限）
 - ・予算は2万8千件分（2,800万円）
- 4) JMATやまぐちについて
 - ・能登半島地震に、防府と下松のチームが派遣され、後方支援を行った。
- 5) ACLS普及啓発事業について
 - ・例年通り、令和6年度もACLSシミュレーターレンタル費用の助成を行う
 - ・1医療機関あたり年間15万円を上限とする
- 6) AED普及啓発について
 - ・例年通り、AEDトレーナーおよび訓練人形を無償で貸し出し
- 7) その他（休日夜間急患センターに関する調査について）
 - ・柳井、光、宇部、長門以外は、在宅当番医制度をとっている。
 - ・今後も制度を維持できるかという質問に対し、ほとんどの医療圏が医師不足、高齢化を理由に、維持できない、わからないと回答。
 - ・休日診療所を設立して1本化を図っても、看護師、事務員の確保が困難
 - ・山口県救急安心センター相談ダイヤル#7119は、担当が医師以外の場合は、安易に2次救急病院の受診を勧める傾向にあり、機能していない
 - ・防府は、#7119の代わりに、関東地方の山口県出身医師にオンライン診療による対応をしてもらうパイロットスタディを行っている
 - ・休日診療所の医師が急病等により急遽出務できなくなったときの対応は？

2. 令和6年度 光市自殺対策協議会（7/18）

（井上会長）

議事

1. 光市の自殺の現状について（報告）

光市は令和4年と同数の3人 自殺死亡率6.07% 山口県の15.8%、全国の17.27%より少ない。平成30年から令和4年の傾向として、40-59歳の就労男性に多い、原因・動機がわかっているケースでは健康問題、経済生活問題が多い、ことが示されている。

光市HPからこころの体温計にアクセスした件数の6-7割が光市民の利用で5割以上は本人モードである。直近3年間で家族モード利用率が年1%程度増えて12.4%を占めるようになった。男女比は45.0対55.0で少しずつ男性の利用数が増えている。

2. 光市自殺対策計画進捗状況について（報告）

令和2年度から6年度の5年計画で策定された計画のうち大半は達成率100%になった。

3. 光市自殺対策計画の改定について

健康づくり推進計画が令和8年度を初年度とする12年計画で策定される予定である。第2次自殺対策計画も令和8年度を初年度とするため1年延長して令和7年度終了とする。

4. 令和6年度光市自殺対策事業について

自殺対策協議会年1回開催、自殺対策後援会年1回開催、啓発事業（こころの健康・困りごと相談窓口、かかりつけ医による睡眠相談、関係機関ヘリーフレット配布、市内保育園・幼稚園、小中学校、健康教室等へチラシ配布、こころの相談カードの配布・設置）、産後うつ予防事業を継続する。

5. 自殺対策講演会 講師案 高橋聡美 中央大学人文科学検収書客員研究員

3. 令和6年度 第1回光市健康づくり推進計画市民協議会（7/18）

（井上会長）

議事

1. 第2次光市健康づくり推進計画について

ア 市の現況 死亡数が出生数を大幅に上回り人口が自然減している。健康寿命は男性80.76年・女性84.25年で計画策定当初からの5年間で男性は2.39年延伸した。死亡原因は悪性新生物（24.9%）、心疾患（15.1%）、老衰（12.9%）、脳血管障害（6.1%）、肺炎（5.8%）で老衰が増えている。

イ 市関係各課の取り組み状況

2. 第3次光市健康づくり推進計画策定について

国の健康日本21、食育推進基本計画、歯・航空の健康づくりプランを基にして 県が健康やまぐち21計画、やまぐち食育推進計画、歯と口腔の健康づくり推進計画を策定している。そこに山口県自殺総合対策計画を加え、令和8年度を初年度とする第3次光市健康づくり推進計画を12年計画で策定する。令和13年度に中間評価を行

うとともに計画開始10年の令和17年度を目途に最終評価を行う。

3. 策定スケジュール

令和6年度

- 6月 庁内会議（1回目）」策定方針・アンケート
- 7月 市民協議会（1回目）策定方針・アンケート
- 8月 市民アンケート（20歳以上1800人）実施
- 9月 市民アンケート（児童350人、生徒430人）実施
- 10月 ワークショップ開催
- 11月 庁内会議（2回目）、市民協議会（2回目）
- 令和7年2月 市民協議会 公募委員募集

令和7年度

- 4月 市民協議会委員委嘱
- 6月 庁内会議（1回目）、市民協議会（1回目）計画素案協議
- 9月 庁内会議（2回目）、市民協議会（2回目）
- 10月 パブリックコメント実施
- 令和3月 計画策定

4. 令和6年度 第1回地域医療支援病院審議協議会（7/22）（井上会長）

令和5年度実績報告 徳山医師会病院（IB） 徳山中央病院（CB）

1. 紹介率・逆紹介率等*（）は4年度

IB 紹介率 92.8%（89.7%）逆紹介率 80.4%（80.2%）平均在院日数 19.7日（16.5日）病床利用率 66.2%（60.5%）

CB 紹介率 78.5%（64.9%）逆紹介率 140.5%（112.9%）平均在院日数 12.1日（12.8日）病床利用率 88.3%（86.3%）

2. 救急車または患者搬送用自動車により搬入した救急患者数

IB 救急車290人（277人）患者搬送用自動車 267人（284人）

CB 救急車5625人（5629人）ヘリ搬入数 2件（9件）ヘリ搬送数2件（8件）

3. 地域の医療従事者の資質向上を図るための研修

IB 開催回数 12回（9回）参加人員 1908人（2439人）

CB 開催回数 9回（7回）参加人員 563人（277人）

4. 医療機器等の共同利用 IB CT 3110（2980）MRI 2008（1774）RI 181

（100）骨塩定量 12（22）CB CT 2672（2561）MRI 1478（1388）

PET-CT 329（315） RI 367（384）

5. 光市休日診療所運営会議（7/25）（前田理事）

1. 休日診療所運営状況について

- ・令和5年度は、前年より歳入が約680万円増

受診者数が、コロナ前の水準に戻り、収益改善（患者総数 R5 2,104人

R4 1,583人 R1 2,334人)

- ・令和5年10月から、医療事務の外部委託をやめて市の直接雇用に変更したため、R4より委託料が126万円減、報償費が91万円増
収支が過去5年間で初めて132万円の黒字となった
- ・受診者数は、内科は1月、外科は5月が最多。1日あたりの患者数は1月が48,9人で最多
- ・地区別には、浅江が最多で、ついで市外（田布施、周南、下松）
- ・令和5年度のコロナ検査数は、1月が最多で283件（そのうち21,9%が陽性）、陽性率が最も高かったのは7月で74,4%（検査数は78件）
インフルエンザ検査数は1月が最多283件（そのうち48,1%が陽性）、陽性率が最も高かったのは12月で55,2%（検査数は125件）
- ・令和6年度は、医療事務は完全に市の直接雇用となるが、人材不足で存続が危ぶまれている（現在5名在籍、10月から実質3名でシフトを組む）

2. 周南地域救急医療利用状況について

- ・周南3医師会および救急指定医療機関における二次救急の休日・夜間利用率は、光市が11.6%で前年並み
- ・小児救急は、周南こどもQQ（1次救急）の休日・夜間利用率が光市10,8%徳山中央病院による二次救急利用率は16,4%。前者は前年比2%減、後者は前年並み

3. 令和5年度の救急業務実施状況について

- ・救急出動件数は、2913件で過去最多。高齢者率の上昇が要因か
- ・地域別では、日本製鉄のある島田が最多
- ・高齢者の転倒事例が増加しており、それに伴い入院を要する中等症の割合が最多となった（中等症48,2% 軽症47,2%）
- ・#7119の利用率が相変わらず低いため、廃棄予定の消火ホースを使ったコースターを各家庭に配布するなどして、引き続き啓蒙活動を行う

6. 令和6年度光市健康づくり推進協議会（7/28）（井上会長、廣田副会長）

（1）成人保健

①令和5年度がん検診（ ）：がんと診断された人数

受診率：胃がん；6.7%→（4）、肺がん；8.0%↓（1）、大腸がん；8.0%↓（8）、
子宮頸がん；11.9%↓（2）、乳がん；11.5%↓（11）、前立腺がん；7.3%（0）

②骨粗鬆症健診

受診者 28人、受診率：1.2%↓、要精検数；5人（17.9%）、要指導数；10人（35.7%）

③健康教育・健康相談

健康教育：56回、延べ1,431人（令和4年度；68回、延べ1,250人）

健康相談：448回、延べ878人（令和4年度；183回、延べ554人）

④光市健康づくり推進計画の推進

「まもる」、「うごく」、「たべる」、「なごむ」をテーマに展開
「プラス葉酸☆人生最初の1,000日応援事業」として葉酸サプリメントを配布
241人に配布

⑤自殺対策計画の推進

協議会を1回開催

ゲートキーパー研修を開始（参加人数 174人）

自殺対策講演会を開催

「安心して生きるために私たちにできること～適応と生き方の支援～」

講師：増本 俊哉 氏

（2）母子保健

①出生数：240人↓、妊婦検診:前期;97.4%↓、後期;100.8%↓

産婦健診：2週間健診;94.1%↓、1ヶ月健診;103.8%↓

産後うつ傾向で指導につながったケースが30件

②乳幼児健診

受診率;1か月児;98.4%↑、3か月児;100.4%↑、7か月児;96.9%↓

1歳6か月児;95.4%↓、3歳児;97.8%↑

③不妊治療費助成事業

一般不妊治療助成事業

申請者数：59人、妊娠成立数：14人、妊娠率：23.7%

人工授精助成事業

申請者数：21人、妊娠成立数：4人、妊娠率：19.0%

（3）歯科保健：歯の健康相談、成人歯科健診、乳幼児及び保護者に歯科指導、
良い歯のコンクール、口腔がん健診

（4）新型コロナウイルスワクチン接種事業

令和6年3月31日で特例接種事業を終了

接種率:1回目;86.1%、2回目;85.8%、3回目;75.1%、4回目;57.2%、5回目;39.9%
6回目;27.6%、7回目;19.8%

（5）予防接種

①高齢者インフルエンザ 56.2%↓ 高齢者肺炎球菌 26.0%↓

②HPVワクチン 対象者2,630人、接種者526人、接種率20.0%↓

うちキャッチアップ対象者 1,510人、接種者 253人、接種率 16.8%↓

③風疹5期 無料クーポン券送付者 3,496人 抗体検査受診者 91人
抗体陰性者 19人 接種者 20人

（6）組織との連携

①母子保健推進協議会 母子保健推進員 52名で訪問活動

乳幼児訪問 2,640件

妊産婦訪問 281件

②食生活改善推進協議会 食生活改善推進員 75名で構成

訪問等活動 12,849回

(7) 救急医療体制 休日診療所運営協議会報告参照

牛島診療所:47日開所、延べ239人受診 (5.1人/日)

(8) 令和6年度光市保健衛生事業計画

今年度の重点施策(抜粋)

がん検診受診率向上、「みんなtoウォーキング事業」の実施、歯と口腔粘膜検診の実施、産後ケア事業の自己負担を無料化、公費による新生児聴覚検査、
光市健康づくり推進計画の推進、不妊・不育症治療費助成事業、口腔癌集団健診

(9) 健康づくりイベント

おっぱいまつり 11月3日(日)

ふれあい健康フェスティバル 11月24日(日)

7. 令和6年度都市医師会小児救急医療担当理事協議会(7/25 松島理事)

協議事項

1. 令和5年度小児救急関係事業報告について

山口県小児救急医療電話相談事業 令和5年度実績報告

件数 11652件 一日平均31.8件

時間帯 19～22時の相談が半数以上

月別 5月から7月が多かった

曜日 日曜日が最多 ついで土曜日が多い

住所 山口・防府 周南 下関の順に多い

年齢 1～3歳未満が最多 6歳未満が全体の80%

相談時間 5～10分未満が最多

対応内容 「すぐに受診」 「翌日受診」 「改善なければ受診」の順に多い

相談内容 「病気・症状」について70%、ついで「事故・ケガ」が多い

主訴 「発熱」が最多 ついで「ケガ・外傷など」が多い

2. 令和6年度小児救急関係事業について

I 小児救急医療地域医師研修事業

小児科を専門としない医師に対する研修事業

II 小児救急医療啓発事業

乳幼児をもつ保護者に対する講習会

III 小児救急医療拠点病院運営事業

二次医療圏を対象として、休日及び夜間における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を確保

○済生会下関総合病院 ○総合病院山口赤十字病院 ○徳山中央病院

○岩国医療センター

IV 小児救急医療確保対策事業

小児救急医療体制が整備されていない医療圏において、小児二次救急医療が提供で

きる体制を整備

○周東総合病院 ○長門総合病院

V 地域小児救命救急センター整備事業（新規）

重篤な小児患者に対し、より高い水準の小児救命救急医療を提供できるよう、整備し支援

○山口大学医学部附属病院

VI 小児救急医療電話相談事業

保護者からの電話相談に相談員が対応することで、保護者の不安解消や適切な受診促進に寄与

3. 山口県小児救急医療電話相談事業（#8000）について

株式会社法研に委託

【実施時間】 19時から翌朝8時まで毎日実施

【回線数】 2回線

【相談員】 看護師及び小児科医

【相談内容】 子どもの急病、疾患等に関すること

II. 協議・承認事項

1. ふれあい健康・フェスティバル（11/24）への参加について （井上会長）

廣田副会長の参加で了承された

2. 見舞金について （井上会長）

光武医師に金2万円支出することで承認された

3. 勤務医部会について （井上会長）

令和6年3月9日に光市民大ホールでの開催、また、開催形式は光市行政参加依頼することで承認された

4. 地域包括事業について （井上会長）

本年11月にあいぱーくいきいきホールにて山形恭康医師の講師による開催で了承された

以上を協議・承認した。

令和6年度9月光市医師会定例理事会

日時 令和6年9月10日（火）午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、前田一彦理事、田村健司理事、秋吉宏規理事
松島寛理事、河内山敬二理事、北川博之理事、谷川幸治理事
守友康則監事、藤田敏明監事

議題：

I. 報告事項

1. 光市地域包括支援センター運営協議会 (8/1井上会長)

報告第1号 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の再委託について

光市東部地域包括支援センター（光井・室積・大和）

16事業所 市内13、市外3

居宅介護支援事業所 市川医院

光市基幹型（西部）地域包括支援センター（浅江・三井・島田・上島田・周防）

18事業所 市内14 市外4

居宅介護支援事業所 市川医院、河村循環器神経内科居宅介護支援事業所

協議事項

1. 令和5年度光市地域包括支援センター事業報告

2. 令和5年度光市地域包括支援センター収支決算

3. 令和6年度光市地域包括支援センター運営方針

4. 令和6年度光市地域包括支援センター事業計画

5. 令和6年度光市地域包括支援センター収支予算

事業運営方針（資料）；

介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、一般介護予防業務、認知症施策の推進、地域ケア介護の開催、生活支援体制整備事業、指定介護予防支援事業

6. 光市地域包括支援センターの運営業務委託について

令和7年度から基幹型の直営センターと委託センター2か所の複数設置とするため委託センターを公募する。

7. 認知症高齢者等見守りネットワーク推進会議

キーワードは「つながり」・「場づくり」＋「理解」

チームオレンジの整備；認知症サポーターのステップアップを図り、サポーターがチームを組み、認知症の人への具体的支援を行う仕組み。

サロン、趣味のグループ、老人クラブなどの団体活動において認知症の人への見守り、声掛け、症状への配慮、専門医へのつなぎ、など具体的支援を行う。

認知症サポーター養成講座 認知症ケアパス概要版を活用した相談

ひかり見守りネット

認知症予防講演会 11月8日（金） 光市民ホール

認知症になっても暮らし続けられる地域づくり

一般社団法人注文をまちがえる料理店 理事長 和田行男

2. 周南医療圏地域医療構想調整会議 (8/8 WEB会議 井上会長)

地域医療構想の進捗状況の検証、紹介受診重点医療機関の選定、病床機能再編支援

補助金等について協議を行う会議。

今年度からの新たな協議事項として、国から「推進地域」に設定された構想区域では、課題解決に向けて、区域対応方針の策定や、各医療機関の対応方針の検証・見直しを行う。

1. 令和6年度地域医療構想調整会議の進め方について（資料1）
2. 令和5年度病床機能報告結果について
病床機能報告結果（資料2-1 抜粋）
各医療機関2025プラン（資料2-4）
3. 地域医療構想の進捗状況の検証について（周南地域）
必要病床数:2547床（慢性期737、回復期842、急性期745、高度急性期223）
2023年 3088（慢性期1051、回復期760、急性期814、高度急性期463）
2025プラン 3085（慢性期1022、回復期806、急性期794、高度急性期463）
「周南医療圏」具体的対応方針等整理票（資料3-2）
4. 周南市立新南陽市民病院の増改築について（資料4）

3. 周南地域メディカルコントロール協議会

（7/25 前田理事）

議題

（1）令和5年度山口県救急業務高度化推進協議会・幹事会合同会議 報告

- ・今後の救急業務において、高齢化に伴う在宅・介護の現場への消防機関の関わりが重要となることが予想されることから、県内の高齢者福祉施設の関係者を委員に追加
- ・「傷病者の搬送および傷病者の受け入れの実施に関する基準」の一部改正（資料2）
各医療機関の実情を踏まえて資料の如く改正

（2）令和5年度事業報告および令和6年度事業計画案について

- ・救急救命士によるアナフィラキシーの病態等に関する判断の正確性を調査するための観察研究が、令和5年7月10日から10月31日までの期間で行われた
- ・計21,732件の症例について、救急救命士と医師のアナフィラキシーの判断を比較検討したところ、陽性的中率95.9%、陰性適中率99.99%だった
- ・観察研究結果のまとめ
救急救命士は、観察カードなどを用いて観察すれば、アナフィラキシーやアドレナリン投与の適応を概ね正確に判断できるのではないかと
ただし、救急救命士がアナフィラキシーと判断したものの、医師がアナフィラキシーではないとした事例があったため、オンラインによる医師の指示のもとに処置を実施するのがより安全、適切と思われる

（3）令和5年度周南地域MC協議会作業部会の構成について メンバーの承認のみ

(4) 12誘導心電図の測定プロトコルについて

救急業務において、12誘導心電図の測定ができる場合の手順や注意事項について、別添1のようなプロトコルが提案された。が、そもそも救急車の揺れによるアーチファクトで適切に測定できなかったり、救急車内で12誘導をとる必要性を疑問視する意見が出たため、プロトコルの導入は見送られた

(5) 地域の救急搬送の現状について

県や市の報告と同様、令和5年度は過去最多で、高齢者が多かった

4. 郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会・関係者合同会議(9/05 北川理事)

1. 山口版 ネウボラについて

県内88カ所でネウボラの実地体制ができています。2回/年で県大において研修の予定

2. 子宮頸癌ワクチン キャッチアップ接種は令和7年3月で終了予定、そのため9月までに接種開始が必要

キャッチアップ接種期間の延長を要望しているとのこと

3. 令和4年、5年の麻疹・風疹予防接種状況について

光市はいずれも91-92%で県平均よりわずかに低い

4. 令和7年度妊婦・乳幼児健康診査における参考単価 (詳細希望は医師会まで) 全ての市町で了承された。

5. 乳幼児健康診査は1歳6か月、3歳で市町村において実施することが義務付けられている。

これを1カ月の乳児及び5歳児の幼児に拡張へ。

1カ月に関しては光市を含めてほぼすべての市町で個別で行われている。

5歳児健診については、光市では実地予定なしとのこと。5歳児発達相談事業でほぼ全数を把握し、相談希望者に対して協力機関との連携もできているとのこと

6. 高齢者に対するインフルエンザ予防接種について

上関町以外は4,950円

7. 新型コロナウイルスワクチン定期接種 個別接種標準料金 すべての市町で了承された

8. 小児用肺炎球菌ワクチン(20価)定期接種化に伴う広域予防接種における個別接種標準料金案

14,883円で了承(診療報酬改定に伴い599点⇒604点)

10月以降は13価は使用できないことに注意を!!

9. 令和7年度広域予防接種における個別標準料金(案)の変更について(詳細希望は医師会まで)

全ての市町で了承された。

10. 令和6年度 児童虐待の発生予防等に関する研修会

令和6年11月17日 (日曜日) 10:00-12:00

山口県医師会 6階会議室（Zoomによるライブ配信あり）

11. BEAMS研修会

令和6年12月2日（月曜日） 19:00-20:30

はじめよう！ 子ども虐待対応とその予防 Zoomによるオンライン開催

5. 山口県医師会との懇親会について

（9/10 井上会長）

令和6年12月22日に下松医師会と共同で開催予定、熊毛郡医師会も参加の可能性あり。

以上を報告した。

Ⅱ. 協議・承認事項

1. 令和6年度の忘年会について

（井上会長）

松原屋で12/5で開催予定

2. 周南三市医師会役員会

（井上会長）

光市が次回引き受け予定

3. 医師会入会について

（井上会長）

すべてオンラインになること、医師移動時は個人の操作でなること、
また、それらは9月末から開始予定。

4. 休日診療所の薬剤について

（井上会長）

ヒドロコルチゾン300mgは中止、ソルコーテプに代替。デカドロンエリキシルが
500mlに変更、外科よりゲーベンクリーム導入希望

以上を協議・承認した。

新入会員紹介



ナイスケアまほろば
よこやま としゆき
横山 俊之 先生

2024（令和6）年4月から睦会介護老人保健施設ナイスケアまほろばの施設長に赴任致しました。今後とも、宜しくお願い致します。

1956（昭和31）年岡山県備前市香登本 生まれ
日本小児科学会認定 小児科専門医

略歴：

- 1983年 岡山大学医学部卒業
- 1983年 岡山大学医学部附属病院小児入局
（木本 浩 教授）
- 1984年 松山赤十字病院小児科入局
（西林洋平 部長）
- 1989年 尾道立尾道市民病院小児科医長
- 1991年 岡山市立岡山市民病院小児科部長
- 2000年 操南ファミリークリニック開業
- 2019年 岡山博愛会 博愛会病院内科医長
- 2020年 岡山博愛会 介護医療院みくに 管理人
- 2023年 睦会介護老人保健施設ひかり苑 勤務
- 2024年 睦会介護老人保健施設ナイスケアまほろば施設長

診療分野：臨床感染免疫アレルギー

臨床研究：無菌性髄膜炎における髄腔内の炎症過程

趣味 読書 散歩 夏目漱石足跡調査

著書：

元祖・漱石の犬（2012年 朝日クリエ）

岡山の夏目金之助（2012年 岡山文庫 280巻）

異動会員

6月1日付

B会員→C会員

守田 信義 先生

退会会員

9月30日付

B会員 板垣 達則 先生 (光市立大和総合病院)

緑友会ゴルフコンペ成績

令和6年7月7日
周南カントリークラブ

順位	名 前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	井上 亮	37	40	77	1	76
準優勝	小田 達郎	52	49	101	24	77
3	高島 光洋	62	45	107	28	79
4	宮本 寿太郎	48	43	91	8	83
5	兼清 照久	50	49	99	11	88
6	吉川 真	52	52	104	16	88
7	國近 豊	53	51	104	16	88
8	佃 浩一郎	52	51	103	14	89
9	赤崎 信正	50	49	99	7	92
10	兼清 光帆子	67	61	128	36	92
11	森本 博士	48	50	98	4	94
12	南 典文	57	61	118	19	99

NP ⑥佃

ドラ短 兼清(照) 南

☆ これからの行事予定 ☆

10月 8日(火) 理事会
22日(火) 月例会

12月 5日(木) 忘年会
10日(火) 理事会

11月 12日(火) 理事会
26日(火) 月例会

月例会報告

令和6年8月27日(火)

1. 納涼懇親会の報告
2. 合同症例検討会について
3. 地域包括ケア推進事業について
4. 勤務医部会市民公開講座について

令和6年9月24日(火)

1. 新型コロナワクチン定期接種について
2. 地域包括ケア事業 医師会主催講演会について
3. 忘年会について

7月休日診療所当番医報告

		内科系	外科系	
7月	7(日)	7	16	23
	14(日)	28	8	36
	15(月)	30	3	33
	21(日)	26	8	34
	28(日)	24	5	29
	計	115	40	155

8月休日診療所当番医報告

		内科系	外科系	
8月	4(日)	15	9	24
	11(日)	15	18	33
	12(月)	27	21	48
	14(水)	33	11	44
	15(木)	18	9	27
	18(日)	11	6	17
	25(日)	13	7	20
	計	132	81	213

9月休日診療所当番医報告

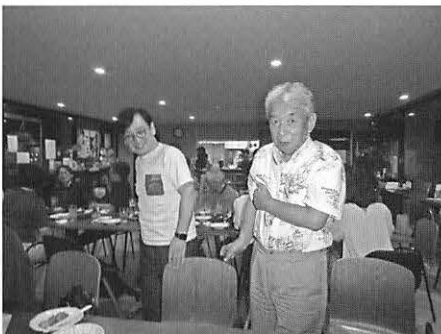
		内科系	外科系	
9月	1(日)	12	8	20
	8(日)	6	5	11
	15(日)	21	3	24
	16(月)	11	5	16
	22(日)	21	6	27
	23(月)	20	5	25
	29(日)	15	3	18
	計	106	35	141

2024年度 納涼懇親会

日時：2024年7月18日（木）

報告：会員福祉担当 広田 修

4年ぶりの納涼懇親会を、光市民ホール内のカフェ アゴラで開催しました。この会は医師会員だけではなくご家族も参加して開催する会です。今回も11家族、大人32名、乳幼児から中学生までのお子さんが10名の42名が集い、美味しい料理と会話を楽しんで頂きました。来年度も開催予定ですので、皆様ぜひご来場下さい。



● あ　と　が　き ●

医師会報秋号をお届けします。

太陽の活動が極大期に達したせいかな今年の夏は猛烈に暑い中を過ごされたと思います。

この秋号が発刊され、皆様のお手元に届く頃には晩秋の中に衣替えの準備に忙しくなっておられるのではないのでしょうか？

くれぐれもお身体にはお気をつけてください。 (K.T)

発行所 光市医師会
TEL (0833) 72-2234
発行日 令和6年11月30日
発行者 井上 祐介
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社